

1 指導概要

教科		科目			
公民		公共	単位数： 2 単位		
② 指導目標： よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。					
メディア視聴	あり	60%	教科書	『公共』東京書籍	
スクーリング	1 単位時間×2 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)		
1	公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 1 青年期と自己形成の課題 2 自己形成と社会への参画 3 功利主義と幸福の原理 4 義務論と公正の原理	第 1 回 (4/30)	第 1 回	・青年期における心の動きや自分自身の捉え方、人間関係などの特徴をふり返りながら、青年期の特徴や発達課題について理解する。 ・結果ではなく義務に基づいて行動すべきとする場面を想定しながら、カントの考え方を理解する。 ・社会における意見や利害の調整、意思決定における民主主義の意義、それらの課題について理解する。 ・立憲主義と民主主義の緊張関係の意味について考える。 ・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、実際の政治事象とも関連させながら理解する。	
2	公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会。民主政治と私たち 1 民主主義とは 2 立憲主義とは 3 国会のしくみと役割 4 世界の政治体制	第 2 回 (5/30)		・道徳を含む社会規範における法の特徴、法の役割、法の区分とそれぞれの特色について理解する。 ・私法の性格、私法の三つの原則、過失責任の原則などについて理解する。	
3	法の働きと私たち 1 法と社会規範の役割 2 市民生活と法 3 司法のしくみと役割 4 刑事司法と司法参加の意義	第 3 回 (6/30)		・経済活動の意義、経済主体と経済循環、グローバル化のなかの経済活動の動きについて、実際の経済事象とも関連させながら理解する。 ・財政と財政政策を通じて、経済政策や福祉政策その他の政策が行われていることを理解する。また、財政問題については、資料を読み取りながら問題解決の方向性について考える。	
4	経済社会で生きる私たち 1 私たちと経済 2 中央銀行の役割と金融環境の変化 3 財政の働き 4 財政の課題	第 4 回 (7/30)		第 2 回	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解する。
5	私たちの職業生活・国際社会のなかで生きる私たち 1 働くということ 2 国際連合の役割	第 5 回 (8/30)			

	3 国際社会と平和主義			<ul style="list-style-type: none"> ・国連の安全保障に果たす意義と課題について考える。 ・平和の意味，外交を通じた平和の実現の意義，日本の立場と役割について，実際の事象とも関連させながら理解する。 ・為替のしくみと外国為替市場，国際通貨制度とその変化，国際金融の動向について，実際の経済的事象とも関連させながら理解する。
6	国際社会のなかで生きる私たち 1 平和な国際社会に向けて 2 貿易の仕組み 3 国際金融のしくみと動向	第6回 (9/30) 提出期限 (11/30) ※提出予備日 (1/15)		

2 評価の観点

知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく，説明のスピードも速くなります。教科書を読み，各回の範囲を予習し，レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。最近の出来事を知ることが重要なので，親御さんに聞いてみるのもいいかもしれません。